人と猫が共生できるまちへ

地域猫活動

地域が主体となって、野良猫の不妊去勢手術を行い、エサのやり方や、ふんの始末などに関するルールを定めることで、地域で野良猫を適切に管理し、不幸な野良猫の数やトラブルを減らして、地域を住みよくする活動です。

市では、登録のある地域猫活動団体に対し、「廿日市市地域猫活動補助金」を交付するなど、地域猫活動を推進しています。

※詳しい内容は市ホームページを確認してください

実際に地域猫活動に取り組んでいる人は、どのような思いで、どんな活動をしているのか。阿品、阿品台、桜尾で活動する皆さんに話を聞きました。

始めたきっかけは？

―きっかけはさまざまです。野良猫が子猫を8匹生んだ、猫の鳴き声がうるさい、弱った猫を拾った…。町内会長の要望により始めたところもあれば、「人と同じように、猫という弱者に対して優しい地域であってほしい」と町内で説明して活動開始するところもあります。保護器を設置し野良猫を捕まえて不妊去勢手術を受けさせ、弱った猫は自らの手で看病する。また、子猫に関しては里親探しをしています。日々猫たちと向き合い、奮闘しています。

桜尾地区では、住民の理解と協力を得るために、丁寧に説明したり、「地域猫だより」を回覧して活動報告をしたりしています。

▲桜尾キャット見守りグループ　代表　西垣内（にしがいち）　澄代（すみよ）さん

▲地域猫だより

知ってほしいことは？

―不妊去勢手術をした猫が、一代限りの命を健康に生きていけるように、エサやりやトイレのルールを決めて適切に管理します。ただ、猫が嫌いな人や活動に理解を得られない人から心ない言葉を投げかけられることも。私たちは、不幸な猫を増やさないため、住民が野良猫に悩まされないために活動しています。地域を良くするための活動として、まずは温かく見守ってほしいです。

活動のこれから

―猫のエサ代や、病気になった猫の治療費、薬代などの費用の負担も大きく、地域猫活動に取り組む人も高齢化し、継続が難しくなっています。

また、一部の地域で猫の不妊去勢手術が完了しても、他から来た猫が繁殖することも。地域を越えて、全面的に取り組むことが今後の課題です。まずは各地域で猫を管理する。同じ命として、猫が幸せに生きていけるよう、地域猫活動に賛同し行動してくれる人が増えるとうれしいです。

地域猫活動を応援しませんか？

市では、今年度からふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを開始し、地域の課題解決に取り組んでいます。第一弾として、地域猫活動に関するプロジェクトへの寄付を募集しています。

寄付の使途　地域猫活動団体に対する補助金の支給

募集期間　11月29日㈫まで

※詳しくは、二次元コードからふるさとチョイスのホームページで確認してください

※寄付の募集に関する問い合わせは経営政策課（☎㉚9127）、地域猫活動に関する問い合わせは生活環境課（☎㉚9147）まで

人のうごき

		前月比
総人口	116,360人	(+43)
男	55,976人	(+25)
女	60,384人	(+18)
世帯	53,020世帯	(+56)

（令和4年10月1日現在）

廿日市市は女子野球タウンに認定されています

電話での問い合わせが難しい人は
FAX0829㉜1059

目の不自由な人などのため
■音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版・音訳版をホームページに掲載しています。
■「広報はつかいち」のデイジー図書、点訳本があります。
問い合わせ　社会福祉協議会☎㉚0294

発行　廿日市市　〒738－8501　広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
☎0829㉚0001㈹・FAX0829㉜1059
編集　経営企画部　ブロモーション戦略課　広報広聴グループ
ホームページアドレス　https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス　https://www.facebook.com/hatsukaichicity
LINE　https://page.line.me/410bgnyd?openQrModal=true